

グローバルプロダクトビジネス -Global Product Business-

金融・流通・公共分野で培ったノウハウをグローバルに展開するとともに、サプライチェーン全体を通して、環境に配慮した取り組みを行っています。

環境配慮製品の開発・提供

当社グループでは、製品の安全性や、製品が環境へ及ぼす影響に対する世の中の関心が高まるとともに、サプライチェーン全体を通じて、有害物質の含有を制限するRoHS（※1）やREACH（※2）をはじめとする製品含有規制への適合はもとより、エネルギー効率および資源効率に優れた環境配慮製品を開発し、国内外のお客様へ提供することで、グローバルな環境負荷の低減に貢献しています。

※1：電気・電子機器における特定有害物質の使用制限

※2：化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則

エネルギー／資源効率の追求

「富士通グループ環境行動計画」で提示された製品の環境性能（エネルギー／資源効率）に関する指標を受け、同指標を確実に達成できるよう、DR（Design Review）の初期段階から使用する部材や構造などを入念に検討して、設計開発を進めています。

なお、「第8期環境行動計画」（2016～2018年度）においては、4製品がエネルギー効率トップレベル、5製品が資源効率向上を実現し、すべての指標を達成することができました。

製品含有規制化学物質への対応

当社グループでは、製品含有規制化学物質への対応を確実にするため、製品を構成する部品の含有化学物質を一元管理可能な独自のWeb管理システム（名称：Earth）を構築し、設計開発、受入検査、品質保証、購買部門などが利用しています。具体的には、利用者が構成部品を選定する際に当システムを利用することで、希望する部品がRoHS適合品であるか確認してから発注することができます。また、chemSHERPA（※3）と部品とを紐づけし、SVHC：Substances of Very High Concern（※4）含有の有無も確認することが可能です。

なお、2019年7月に施行された改正RoHSにおいて規制物質として追加されたフタル酸エステル類4種については、欧州市場向け製品の施行前の適合を完了しています。

※3：製品含有化学物質情報伝達の共通スキーム

※4：REACHにおいて認可対象物質の候補となる「高懸念物質」

「第8期環境行動計画」で開発された当社グループ製品（事例）

